中学校理科　　**学習指導案の一般形式（例）**

理　科（　第〇分野　）学習指導案

〇〇〇〇〇〇〇中学校　　〇年〇組　　〇名
平成〇〇年〇〇月〇〇日（〇）　第〇校時（　　：　　～　　：　　）
使用教室（　　）　　指導者　〇〇〇〇〇

単　元 （題材）	◎あるまとまりをもった教育内容の単位の名称を書く。 ※例えば，ひとつの完結性のあるまとまった学習経験を生徒に与える単位として，教科書の「章」や「節」を基準にする。
目　標	◎単元全体の指導を通じて生徒に形成させよう（身に付けさせよう）としている目標を，学習指導要領と関連付けて具体的に記述する。 〇　（関心・意欲・態度） 〇　（思考・判断） 〇　（観察・実験のの技能・表現） 〇　（知識・理解） ◇　評価の四つの観点を踏まえて具体的な目標を立てる。 ◇　生徒の発達段階を踏まえ，学習経験とつながりを持たせて書く。 ◇　適切な評価ができるように，精選して簡潔に書く。 ※文章表現の例「～を理解する。」「～を身に付ける。」「～を養う。」など。 ［生徒の立場で書く。ただし指導者の立場で書く例もある］
指　導 計　画	◎単元を構成する小単位の名称を書き，その指導順序と配当時間を明示する。 第一次　〇〇〇〇〇〇〇〇 …… １時間 第二次　〇〇〇〇〇〇〇〇 …… ３時間 第１時　〇〇〇〇〇〇〇〇 第２時　〇〇〇〇〇〇〇〇　【本時】 第３時　〇〇〇〇〇〇〇〇 第三次　〇〇〇〇〇〇〇〇 …… ２時間 （本時が含まれている第二次についてのみ時案を示す。） ※具体的な指導構想の表明となるように，指導内容や指導事項を分かりやすく列挙し，本時の位置付けを明らかにする。
指導上 の立場	◎単元観（教材観） 取り上げる教材の内容，既習教材との関連，今後の展開等，その教材を取り上げる意義，生徒にとっての必要性・妥当性など ◎生徒・学級の実態（学級観） 既習事項の定着度，生徒の興味・関心・意欲，題材に関する知識・技能，その他の配慮事項など ◎指導・支援上の基本方針や留意点（指導観） 指導・支援の力点，指導の形態，仮説，その他の配慮事項など，生徒のよさや可能性を生かすような工夫や手だて ※生徒の発達，経験，意欲等の実態を踏まえるとともに，単元の系統性をおさえて具体的に書く。 ［指導者の立場で書く］

本時案例１

本　時　案　（第二次の第２時）	
本時の（学習）目標	◎本時の学習活動でねらおうとする関心・意欲・態度，思考・判断，観察・実験の技能・表現，知識・理解などを具体的に表現する。 ↓ １　（四観点の該当するもの） ２　（　　） ※本時の目標が二つ以上あるときは，１，２の番号などを付けて箇条書きにする。 ※精選化・重点化を図り，一つか二つ程度に絞る。　［生徒の立場で書く］

	学習活動・内容	教師の指導・支援	留意事項・評価規準
導入			
展開	１ ２ (1) (2) ： ： ３ ： ： ： ◇導入・展開・まとめの学習過程に沿って生徒の活動を書く。 ◇一人一人の生徒が何をめあてに活動すればよいのかをつかめるように具体的に書く。 生徒主体 ～を確かめる。 ～に気づく。 ～を知る。 ～を考える。 ～を発表する。	１ ２ (1) (2) ： ： ３ ： ： ： ◇学習活動・内容に沿って，指導・支援の意図・重点，工夫，などについて留意すべきことを具体的に書く。 ・予想される生徒の反応 ・生徒一人一人の学習進度に応じた手だて ・生徒が主体的な学習を進める手だて ・資料提示の機会や方法 ・効果的な学習方法や学習形態の工夫 ・準備物等 ◇学習活動と教師の支援とのかかわりを対応させて書く。 教師主体 ～を示す。 ～を見せる。 ～を問う。 ～雰囲気をつくる。 ～意識を高める。 ～を評価する。 ～の場を設定する。 ～助言をする。	○留意事項 評価 〈関心・意欲・態度〉 ・ ［質問紙］ ◇本時の学習目標との整合を取る。 ◇評価規準（何をどのように評価するか）を具体的に書く。 ◇評価の四つの観点を踏まえて書く。 ◇自己評価や相互評価，その規準にも触れる。 ◇評価方法も書く。 観察（行動，発言等），ノート，報告書，感想文，自己評価カード　等 ○留意事項 評価 〈技能・表現〉 ・ ［観察(ﾁｪｯｸﾘｽﾄ)］
まとめ			評価 〈知識・理解〉 ・ ［実験報告書］

実験準備 参考資料	

本時案例２

「指導案は仮説の集合体である」とする考え方から，「教師の働き掛けや発問」と「予想される生徒の反応」の欄を設けた本時案。授業前の予想（仮説）と授業における生徒の実際の反応を比較することで，自分の仮説を検証することができる。授業研究などに適した学習指導案。

本　時　案　（第二次の第２時）	
本時の（学習）目標	◎本時の学習活動でねらおうとする関心・意欲・態度，思考・判断，観察・実験の技能・表現，知識・理解などを具体的に表現する。 ↓ １　（四観点の該当するもの） ２　（　　） ※本時の目標が二つ以上あるときは，１，２の番号などを付けて箇条書きにする。 ※精選化・重点化を図り，一つか二つ程度に絞る。　［生徒の立場で書く］

	主な発問	予想される反応・活動	教師の指導・支援	留意事項・評価規準
導入			◇学習活動・内容に沿って，指導・支援の意図・重点，工夫，などについて留意すべきことを具体的に書く。 ・予想される生徒の反応 ・生徒一人一人の学習進度に応じた手だて ・生徒が主体的な学習を進める手だて ・資料提示の機会や方法 ・効果的な学習方法や学習形態の工夫 ・準備物等 ◇学習活動と教師の支援とのかかわりを対応させて書く。	
展開	１ ２ (1) (2) ： ： ３ ： ： ： 生徒主体 ～はなぜか。 ～はどう変わったか。 ～の特色は何か。 ～について調べる。 ～について話し合う。 ～を発表する。 ◇一人一人の生徒が何をめあてに活動すればよいのかをつかめるような，具体的な発問や働き掛けを書く。	◇主な発問と対応させて，予想される生徒の反応（発言や思考など）や学習活動を書く。	教師主体 ～を示す ～を見せ ～を問う。 ～雰囲気をつくる。 ～意識を高める。 ～を評価する。 ～の場を設定する。 ～助言をする。	○留意事項 評価 〈関心・意欲・態度〉 ・ ［質問紙］ 教師主体 ◇本時の学習目標との整合を取る。 ◇評価規準（何をどのように評価するか）を具体的に書く。 ◇評価の四つの観点を踏まえて書く。 ◇自己評価や相互評価，その規準にも触れる。 ◇評価方法も書く。 観察（行動，発言等），ノート，報告書，感想文，自己評価カード　等 評価 〈技能・表現〉 ・ ［観察(ﾁｪｯｸﾘｽﾄ)］
まとめ				評価 〈知識・理解〉 ・ ［実験報告書］
実験準備参考資料				

※　学習指導案の作成に当たって

固定的な書式はなく，指導者が自分の考えや提案を具体的に表現できることが大切である。ただし，少なくとも，次の点は学習指導案から読み取れるようにしたい。

1　指導者が学習内容及び生徒をどう理解して，授業を計画しているか。

2　全体の指導計画の流れの中で本時はどのように位置付けられているか。他の指導項目（単元）や教科・科目等との関連は何か。

3　本時，生徒の学習活動はどのように予想され，具体的にどのような手だてがなされているか。

4　授業の中に評価がどのように位置付けられているか。生徒を生かす具体的な手だては何か。

岡山県教育センター